

**事例 2 学級活動（2）日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全**  
**「エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成」の事例**

- 学年 第1学年
- 主な内容 ICT端末等とSNSの安心・安全な活用への指導
- 事例のポイント
  - ①生徒の実態に即した授業展開にするために事前アンケートを活用する。
  - ②原因の追究場面と解決方法の共有場面での話し合い活動を重視する。
  - ③生徒の思考を促す資料や事例を活用する。
  - ④「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて保護者と連携する。
  - ⑤学級活動の学習過程において効果的に資料やICT端末を活用する。

**1 題材 「ICT端末等とSNSの安心・安全な活用」**

**2 生徒の実態と題材設定の理由**

本学級の生徒は、授業だけではなく係や委員会活動等の諸活動にも意欲的に取り組む様子が多く見られる。ICT端末を活用する場面においても、小学校での経験から、ほとんどの生徒が基本的な操作方法を身に付けており、生徒自身の力で様々なことができるようになってきている。家庭でのICT端末等の活用に関しては、社会情勢もあり、高い割合で生徒が何らかの機器をある程度自由に活用できる状況である。しかしながら、ICT端末等の活用における約束やルールを決めていない家庭もある。そこで、授業を通して扱い方やモラルについて指導する必要がある。

本題材は、学級活動（2）「エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成」に関わり、ICT端末等を大切に扱い、家庭や学校での約束やきまりを守りながら使うことを理解し、他者との協働を自他ともに安心・安全かつ効果的に進められるようにすることをねらいとしている。これは、情報活用能力（情報モラルを含む）の資質・能力の育成のため年間指導計画に位置付けられた題材であり、第1学年でICT端末等やSNSの使い方として、「心身ともに健康で安全にICT端末等やSNSを使用していくこと」という二つの内容を自分自身の問題として捉えられるようにしていく。

指導に当たっては、生徒が自分自身の様子を振り返るとともに、アンケート結果や事例の活用、話し合い活動を通して、ICT端末等とSNSの安心・安全な使用を理解し、今後の目標を意思決定できるようにしたい。また、主体的に関わる態度を育てていきたい。

**3 評価規準**

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。 適切な意思決定を行い実践し続けていくために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への適応及び自己の成長に関する課題を見いだしている。 多様な意見をもとに自ら意思決定して実践している。	他者への尊重と思いやりを深めてよりよい人間関係を形成しようとしている。 他者と協働して自己の生活上の課題解決に向けて、見通しをもったり振り返ったりしながら、悩みや葛藤を乗り越え取り組もうとしている。 自他の健康で安全な生活を構築しようとしている。

#### 4 事前の指導

生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】（評価方法）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 題材を知る。</li> <li>・ アンケートに答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題意識を高められるよう、事前に予告する。</li> <li>・ アンケートは保護者とともに回答できるよう、事前に配布しておく。</li> </ul>	◎アンケートを通して、これまでの自分のICT端末等の使い方や、SNSを通しての友達や家族との関わり方を振り返ろうとしている。 【態】（アンケート）

編 P186 指導計画作成の留意事項(4)

「タブレット端末やスマートフォン等の使用に関するアンケート」（学年実施）

##### 質問例（生徒用）

- ① 家庭でタブレット端末やスマートフォン等を使うルールを決めていますか  
(はい70.4%/いいえ29.6%)
- ② (「はい」と答えた場合) どのようなルールを決めていますか(複数回答可)  
(時間49.2%/相手に迷惑をかけない35.5%/自分を守る33.2%/金額28.3%等)
- ③ タブレット端末やスマートフォン等を使って(オンラインゲーム含む)、嫌な思いをしたり、トラブルにあたりしたことはありますか  
(はい7.9%/いいえ92.1%)
- ④ (「はい」と答えた場合) どのような内容ですか(複数回答可)  
(視力低下20.7%/睡眠不足18.9%/悪口12.9%/写真等個人情報の流出2.6%等)
- ⑤ 嫌な思いをしたり、トラブルにあたりしないためには、どのようなことに気を付ければよいと思いますか(複数回答可)  
(誰かに相談する27.5%/相手と話し合う12.3%/スマホを使わない8.1%等)

事例のポイント①  
実際には問題であっても、問題だと自覚していない人が多いことが課題であることを押さえる。

##### 質問例（保護者用）

- ① 子供に自分専用の携帯電話やスマートフォン等を持たせる理由は何ですか(複数回答可)  
(連絡手段90.9%/所在地の把握43.1%/周りの子供が持っている18.3%等)
- ② 子供のスマートフォン等の使い方について説明を受けたり学んだりしたのはどのような場面ですか(複数回答可)  
(配付物57.2%/学校(教員)31.9%/学校(外部講師)20.2%/契約店12.6%等)
- ③ 子供のタブレット端末やスマートフォン等の使い方について困っていることはありますか(複数回答可)  
(学習時間の減少28.8%/睡眠不足21.1%/不規則な生活15.8%/会話の減少10.9%等)
- ④ 子供がタブレット端末やスマートフォン、SNS等で嫌な思いをしたり、トラブルにあたりしないためには、どのようなことを学ばせたいと思いますか(複数回答可)  
(相手に迷惑をかけない84.4%/スマホ依存しない71.5%/自分を守る20.8%等)

##### 事例のポイント①

「埼玉県公立学校におけるスマートフォン等の利用状況等に関する調査」など、実際の調査を活用したり参考にしたりする。


#### 5 本時の指導



##### (1) ねらい

ICT端末等とSNSの使い方について、自分の行動を振り返ったり、友達の考えを参考に考えたりしながら、自他の安心・安全な活用を理解し、自分の課題に合った目標を意思決定し、実践していくことができるようにする。

##### (2) 展開

	生徒の活動	指導上の留意点		資料	目指す生徒の姿 【観点】（評価方法）
		T1 (学級担任)	T2 (養護教諭)		
導入	1 本時のテーマについて確認する。			事例のポイント② T2である養護教諭の役割や指導内容について事前に打合せを行い、指導の効果を高められるようにする。	
10分	タブレットとSNSを誰もが安心・安全に活用できるようにしよう				

つかむ	2 アンケート結果から課題を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果を大型モニターとICT端末で共有する。</li> </ul>	事例のポイント⑤ ICT端末も活用することで、どの生徒にもアンケート結果を見やすくする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート集計結果</li> </ul>													
展開 30分	3 養護教諭の話聞き、ICT端末等とSNSの活用で課題だと感じたり悩んだりしている生徒の事例を確認する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に生徒から出たICT端末等とSNSの活用での課題や悩みについて説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題や悩みの事例</li> </ul>	事例のポイント③ 思考ツールを活用して考えを広げたり深めたりできるように学習カードを工夫する。												
さぐる	[悩む生徒の事例] ※事例(1)~(3)は展開4・5とリンク 事例(1) 早朝や深夜に連絡や指示を書き込む人がいて困る。 事例(2) 他人の書き込みにどう反応してよいか迷う。 事例(3) 文字だけではその人の気持ちが分かりづらい。		<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を自分事として考えるように助言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カード</li> </ul>													
	4 課題や悩みについて、その原因や改善の必要性を考え発表する。  [原因に関する生徒の記述] 事例(1) 他人の都合を考えずに連絡や書き込みをしているから。 事例(2) 書き込みには必ず反応しないといけないという雰囲気があるから。 事例(3) メールと同じで、表情や声の感じが分からないから。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他の心身の不調につながる恐れがあることに気付くことができるようにする。</li> <li>未経験の内容についても自分事として考えられるようにする。</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課題や悩み</th> <th>なぜ困るのか?</th> <th>解決しない?</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事例(1) 早朝や深夜に連絡や指示を書き込む人がいて困る。</td> <td>「他人の都合を考えずに連絡や書き込みをしているから。」</td> <td>「いつでもどこでも新しい情報が増えて気が抜けないから。」</td> </tr> <tr> <td>事例(2) 他人の書き込みにどう反応してよいか迷う。</td> <td>「書き込みには必ず反応しないといけないという雰囲気があるから。」</td> <td>「反応しないとその人を無視したと思われ。完全に反応するのはとても疲れる。」</td> </tr> <tr> <td>事例(3) 文字だけではその人の気持ちが分かりづらい。</td> <td>「メールと同じで、表情や声の感じが分からないから。」</td> <td>「勘違いで人間関係が悪化するかもしれない。」</td> </tr> </tbody> </table>	課題や悩み	なぜ困るのか?	解決しない?	事例(1) 早朝や深夜に連絡や指示を書き込む人がいて困る。	「他人の都合を考えずに連絡や書き込みをしているから。」	「いつでもどこでも新しい情報が増えて気が抜けないから。」	事例(2) 他人の書き込みにどう反応してよいか迷う。	「書き込みには必ず反応しないといけないという雰囲気があるから。」	「反応しないとその人を無視したと思われ。完全に反応するのはとても疲れる。」	事例(3) 文字だけではその人の気持ちが分かりづらい。	「メールと同じで、表情や声の感じが分からないから。」	「勘違いで人間関係が悪化するかもしれない。」		
課題や悩み	なぜ困るのか?	解決しない?															
事例(1) 早朝や深夜に連絡や指示を書き込む人がいて困る。	「他人の都合を考えずに連絡や書き込みをしているから。」	「いつでもどこでも新しい情報が増えて気が抜けないから。」															
事例(2) 他人の書き込みにどう反応してよいか迷う。	「書き込みには必ず反応しないといけないという雰囲気があるから。」	「反応しないとその人を無視したと思われ。完全に反応するのはとても疲れる。」															
事例(3) 文字だけではその人の気持ちが分かりづらい。	「メールと同じで、表情や声の感じが分からないから。」	「勘違いで人間関係が悪化するかもしれない。」															
見つける	5 課題を解決するための方法を考える。    [解決方法に関する生徒の記述] 事例(1) 連絡や書き込みをしてよい時間を設定する。 事例(2) 書き込みへのリアクションは原則しなくていいことにする。 事例(3) 書き込みの内容について学校でもう一度確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>物理的・心理的な安心・安全について、できる限り複数の解決方法を考えるように指示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNSの使用について相手の心情を考慮して考えるように指示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カード</li> </ul>	◎課題の解決に向けて取り組むことの意義を理解し、適切な意思決定を行うために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。 <b>【知・技】</b> (観察・学習カード)												
		[教師の発言] <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT端末の管理だけではなく、みんなの心の安心・安全のためにはどのような事に気をつけなければならないだろう。</li> <li>具体的にはどのようなルールや行動が必要だろう。</li> </ul>															

	<p>6 それぞれが考えた方法について学級全体で話し合い、多様な意見や考えに触れる。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>理由をつけて発表できるよう、事前に指導しておく。</li> <li>生徒の意見以外の解決方法について、具体例を示しながら丁寧に説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な意見を発表してよいことを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カード</li> </ul>	<p>編 P186 指導計画作成の留意事項(2)および(5)</p>
<p>終末 10分 決める</p>	<p>7 養護教諭の助言を聞く。</p> <p>[助言のポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日々進歩する物や技術について、扱い方やモラルを定期的に見直す必要がある。</li> <li>実践を続けるためには家族の協力が大切である。</li> </ul> <p>[生徒が決めた目標]</p> <p>SNSで書き込める便利さだけに頼らず、直接話し合うコミュニケーションを大切にしていこう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の意見を参考にしながら、個々に合った取組を決めて学習カードに記入できるようにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業後の実践につながるよう、具体的な助言をする。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カード</li> </ul>	<p>事例のポイント② 机をコの字型に並べて、話し合いを活発にできるようにする。</p> <p>◎自分の課題に合った目標を決めている。 【思・判・表】 (発言・学習カード)</p>
	<p>8 自分に合った目標について再考し、意思決定をする。</p>				<p>9 学級担任の話聞く。</p>

## 6 事後の指導

生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】 (評価方法)
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が決めた取組を実践し、学習カードに記入する。</li> <li>継続的な実践の中での新たな気付きや課題を発表する。</li> </ul> <p>事例のポイント③ 文科省の「情報モラル学習サイト」等、ICTの活用も検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組を確認し合う場を設け、お互いの実践を認め励まし、継続的に取り組めるようにする。</li> <li>学級活動や学級通信を通して、生徒が保護者とともにPDCAサイクルを意識できるようにする。</li> </ul>	<p>◎自分が決めた取組を実践しようとしている。 【態】 (観察・学習カード)</p> <p>事例のポイント④ 家庭との継続的な連携を図る。</p>

編 P186 指導計画作成の留意事項(4)